

科目名		授業形態	担当教員名	
循環器学		講義	遠藤 宏和	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
循環器・呼吸器系の解剖学的構造と生理学的機能を相互に関連させ、循環器系疾患の症状・病態から検査法、PCI、薬物療法等の治療法や予後を理解するための基礎について講義する。				
授業の到達目標				
臨床工学技士業務として必要な循環器系の解剖・生理・症状・病態を概説し、その治療法へ繋がる知識を修得する。				
授業計画				
回	内容			
1	心臓の解剖			
2	冠動脈 (生理・走行パターン・血流規定因子)			
3	心筋細胞と活動電位・伝導速度調節			
4	心機能指標 (心拍出量規定因子)			
5	前負荷・後負荷軽減療法			
6	循環調節 (液性因子)			
7	臓器循環 (脳・肝・脾・腎)			
8	症状 (胸痛・呼吸困難・動悸)			
9	症状 (失神・ショック)			
10	循環器系での検査 (造影・FFR)			
11	循環器系での検査 (IVUS・OCT)			
12	薬物療法 (心血管作動薬)			
13	輸血療法			
14	循環器疾患 (不整脈・心不全・弁膜症)			
15	循環器系疾患 (大動脈・先天性心疾患)			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
病気が見える vol.2 循環器 第5版	医療情報科学研究所		メディックメディア	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				